

第1回 日本ヘルスコミュニケーション 研究会

<http://HealthCommunication.jp/>

**テーマ: 医療系大学等におけるヘルスコミュニケーション教育
—現状及びその意義と役割**

日時: 平成21年7月10日(金)午後1時—4時

場所: 東京大学医学部附属病院入院棟A15階大会議室

参加費: 2000円(抄録集合む)

参加希望者は、事前にjahc2009@umin.ac.jp宛に氏名、所属を記載して、お申込ください(定員100名)。

1. 開会のご挨拶 木内貴弘(東大大学院医療コミュニケーション学分野教授)

2. 挨拶 新木一弘(文部科学省高等教育局医学教育課長)

3. 講演 東大大学院医療コミュニケーション学教室のヘルスコミュニケーション学教育の概要
木内貴弘(東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学)

医療コミュニケーションと日本語の教育
野呂幾久子(東京慈恵会医科大学日本語教育研究室)

効果的治療のための医療コミュニケーションの知識と技能
町田いづみ(明治薬科大学薬学部医療コミュニケーション学)

看護系学部におけるヘルスコミュニケーション教育
杉本なおみ(慶應義塾大学看護医療学部)

医療学教育におけるコミュニケーションとナラティブ—現状と展望—
斎藤清二(富山大学保健管理センター)

ヘルスコミュニケーションの課題と可能性: EBM・診療ガイドライン・患者参加の視点から
中山健夫(京都大学大学院医学研究科健康情報学)

医学コミュニケーションについて
岩隈美穂(京都大学大学院医学研究科医学コミュニケーション学)

医療制度改革とコミュニケーション教育
池田光穂(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター)

広島大学歯科医学系のコミュニケーション教育
小川哲次(広島大学病院歯系総合診療科口腔総合診療科)

九州大学における医療コミュニケーション教育の現状
荒木登茂子(九州大学大学院医学研究院医療コミュニケーション学)